

はじめまして 私たちが「地域おこし協力隊」です!



遠藤 舞子(えんどう まいこ) 出身:宮城県南三陸町

18歳まで南三陸町の海に近い環境でのびのびと育ちました。関東の大学を卒業後、美容専門商社に勤務。美容師を対象にしたイベントの企画・運営をしていました。パンフレット制作、製品POPの制作なども行っていたので、これからの活動に活かせればと思います。趣味:キャンプ・パン作りにも挑戦中!



香坂 明(こうさか あきら) 出身:米沢市

18歳まで米沢育ち。雪の多い米沢でスキーを楽しみながら育ちました。高校卒業後、関東の大学へ進学。美容専門商社で勤務し、その後美容系の広告代理店勤務。美容室のコンサルティングや業界内のセミナー、イベントの集客などもやってきました。趣味:キャンプ(年間30泊以上は行っています!)・スキー



遠藤 地域や人がとても一生懸命に取り組んでいる感じが伝わります。
「地方議会のイメージは?」
香坂 これまで身近なものではなかったが、より地域に密着した議決機関として重要な存在と感じております。
遠藤 都議会などとは違い、より地域の方の生活に密着しているものと感じます。
大石田町に住んでみてどうですか?
香坂 とても住みやすいです。とにかく空や山がきれいで毎日感動しています。山菜が大好きなので、これから楽しみです。
遠藤 海育ちなので、山がきれいで感激しています。雪が降らない所から来たので、うまく付き合えるようになりたいです。
「地域おこし協力隊」としての抱負は?
香坂 大石田町に来て、おもしろいと感じる人が多い。そう感じる人を増やしていきたいです。
遠藤 町民が大事にしてきた文化を私達なりの見方も加えて発信していきたいです。

どうして「地域おこし協力隊」になるの?
香坂 移住願望があり、東北の地元に近い場所で地域によりそった仕事がしたいと考えました。
遠藤 震災を越えて、人付き合いが希薄な都会より地域とのつながりがある場所で生きていきたいと考えました。
どうして「大石田町」を選んだの?
香坂 移住セミナーの時に新しい事をやろうとしている担当者のお考えに共感しました。
遠藤 「新そばまつり」にお邪魔し、そば屋さんや町が一つになって地域活性化に取り組んでいる様子に魅力を感じました。
「大石田町」のイメージは?
香坂 とにかく人が温かい印象がありました。先日参加したひなまつりでも深く根付いた「おもてなし」の文化を感じました。

お二人に直撃! インタビュー

大石田ひなまつり(4/2)



よろしくお願ひします